

Sophia Linguistica 応募論文の書式 2016 年度改訂版 (2024 年度一部修正)

内容： 言語諸科学に関する研究論文、および博士論文・修士論文の抜粋
資格： ・上智大学国際言語情報研究所の正所員・名誉所員・客員所員・準所員・共同研究所員
・上智大学大学院言語学専攻の専任教員・非常勤教員・客員教員・客員研究員
・言語学および関連諸分野を専攻とする本学博士前期課程もしくは後期課程に在籍中の大学院生、および前期課程修了生、後期課程修了生もしくは後期課程満期退学者（ただし、大学院生の場合は指導教員の推薦を得ること*）

※共著・単著にかかわらず同一著者による応募は 1 編に限る。

※国際言語情報研究所の正所員が共著論文を投稿する場合、正所員を第 1 著者とする。

執筆言語： 日・英・仏・独・西・葡・露語

*指導教員から推薦を得る場合、特に書類の提出は必要ないが、「別紙」（および応募メール本文）に推薦を得た指導教員の氏名を記載すること。「別紙」については、以下の「2. 形式に関する注意」(1)-[a]を参照。

1. 書式に関する注意

- (1) 原稿サイズ： A4
- (2) 余白： 余白は上下左右 2.5cm 以上
- (3) 字体： 日本語の場合には明朝体、11 ポイント
外国語の場合には Times New Roman、12 ポイント
- (4) 分量： 日本語の場合は 15,000 字以内**
外国語の場合は 7,000 語以内
(タイトル・Summary・参照文献・付録などを含む)
いずれの場合も、英語の Summary (200 語以内) の記載が必要

**日本語論文において欧文を使用する場合、欧文は単語間のスペースを含めて 2 字分を 1 字として扱う。

2. 形式に関する注意

- (1) 論文の構成：
 - [a] 別紙 (SL 投稿者情報シート)：
タイトル***、著者名、所属、住所、E メールアドレスを書く。大学院生が投稿する場合、推薦を得た指導教員の氏名も記す。また、論文中に謝辞を含める予定である場合、投稿段階では当該文面をこの別紙にのみ記載する。
 - [b] 本文：
 - (i) 第 1 ページ目：
タイトル***に加え、執筆言語にかかわらず 200 語以内の英語の Summary を書く。

***英語以外の論文では英語タイトルを併記する。また、英語のタイトルでは前置詞・冠詞・等位接続詞を除く各単語の最初の文字を大文字で表記する。
 - (ii) 第 2 ページ目以降：
投稿論文の本文
- (2) 小節番号： 半角を用い、アラビア数字による通し番号を記載する (英語論文の場合、各小節の第 1 段落はインデントなし)。

- (3) ページ番号： 各ページ下中央にアラビア数字による通し番号を記載する。
- (4) 図・表： 図・表は原則として本文中に直接挿入する。別紙で添付する場合には本文中に挿入箇所を示すこと。また、解説 (caption) は当該図表の下側に置く。
- (5) 注 (Notes)： 本文全体が終わった後の位置にまとめて記す。行間やフォントは本文の規定に準ずる。
- (6) 文献・資料： 文献から引用した資料の典拠を示す場合、1行で収まるならば、用例の後に右揃えして置く。

(本文) -----

(A) Wish she'd get her strength back, though. (Steinbeck 1954, p.36)

引用および典拠が複数行におよぶ場合、引用が終わった行の次の行に右揃えして置く。

(B) Proclaimed her consenting adulthood in love affair.
("Want Privacy? Then Shut Up," NYTWR, Aug. 30, 1992, IE 7: col. 4, par. 4)

- (7) 付録 (Appendix)： 付録がある場合、参照文献リストの後ろに置く。

3. 参照文献に関する注意

- (1) Summary、本文および注で言及した文献・資料以外は載せない。
- (2) 執筆者や編者の名前 (first name) および名字 (family name) は分かる限り略さずに綴る。「Higginbotham, J.」などは不可とし、「Higginbotham, James」などとする。
- (3) 発行年号や執筆年号は執筆者名あるいは編者名と文献名の上に置き、括弧で括らない。
- (4) 著者名、出版年、論文名、書籍名などの各項目の最後にピリオドを置く。日本語の書籍の場合、「J」と「J」の後にはピリオドを置かない。

Booij, Geert and Jaap van Marle eds. 1990. *Yearbook of Morphology*, 3. Dordrecht: Foris.
黒田成幸. 2005. 『日本語からみた生成文法』東京:岩波書店.

- (5) 出版社や論文所蔵機関の名称中に大学名が入っている場合、略さずに綴り、U や Univ.などは用いない。ただし、MIT はそのまま表記する。また、大学の分校名はコンマで示す (誤: University of California at Berkeley ⇒ 正: University of California, Berkeley)。
- (6) 論文名は、全て引用符で括り、書名・誌名はイタリック体で書く。和書の場合、論文名は「」で括り、書名は『』で括る。

Chomsky, Noam and Howard Lasnik. 1993. "The theory of principles and parameters." In *Syntax: International Handbook of Contemporary Research*. ed. by Joachim Jacobs, Arnim von Stechow, Wolfgang Sternefeld, and Theo Vennemann. Berlin: Walter de Gruyter, 506-569.
黒田成幸. 1999. 「主部内在関係節」黒田成幸, 中村捷 編 『ことばの核と周縁—日本語と英語の間』東京:くろしお出版, 105-160.

(7) ページ数を巻ごとに通し番号で表記している雑誌の場合は号数をつけず、それ以外の雑誌の場合のみ号数をつける。

Lefebvre, Claire. 1993. "Dominance vs. precedence in the double object construction: New facts from Fongbe." *The Canadian Journal of Linguistics*, 38: 395-424.

Mihara, Kenichi. 1994. "Iwayuru shuyobu naizaigata kankeisetsu ni tsuite." *Nihongogaku*, 13.8: 80-92.

三原健一. 1994. 「いわゆる主要部内在型関係節について」『日本語学』, 13.8: 80-92.

(8) 学会発表論文集の名称は、NELS・WCCFL・BLS・CLS を除き、略さず綴る。

Browning, Marguerite Ann. 1993. "Adverbial reflexives." *NELS* 23: 83-94.

Inomata, Chizuko. 1993. "On the internal structure of *with NP XP* sequences." *Proceedings of the 6th Summer Conference 1992 Tokyo Linguistic Forum*, 83-96.

(9) 未出版論文、博士論文など未出版の論文名は、イタリック体を用いず引用符で括る。

Szabolcsi, Anna. 1992. "The Noun Phrase." Ms., University of California, Los Angeles.

Dechaine, Rose-Marie A. 1993. "Predicates across Categories: Towards a Category-Neutral Syntax." Doctoral dissertation, University of Massachusetts, Amherst. [Reproduced and distributed by the Graduate Linguistics Students Association. Department of Linguistics, University of Massachusetts, Amherst.]

(10) 同一執筆者の文献が複数ある場合、2 点目以降も執筆者名は省略しない。また、同一執筆者による同一年の文献が複数ある場合は、文献ごとに年号の後に a・b・c をつける。

Kayne, Richard S. 1989a. "Facets of Romance past participle agreement." In *Dialect Variation and the Theory of Grammar*. ed. by Paola Beninca. Dordrecht: Foris, 85-103.

Kayne, Richard S. 1989b. "Null subjects and clitic climbing." In *The Null Subject Parameter*. ed. by Osvaldo Jaeggli and Kenneth J. Safir. Dordrecht: Kluwer, 239-261.

(11) 版の示し方

Chomsky, Noam. 1982. *Lectures on Government and Binding*. 2nd ed. Dordrecht: Foris.

(12) URL の示し方

Steriade, Donca. 2001. "Directional asymmetries in place assimilation: A perceptual account." In *The Role of Speech Perception in Phonology*. ed. by Elizabeth Hume and Keith Johnson. San Diego: Academic Press, 219-250. [Available at www.linguistics.ucla.edu/people/steriade/papers/ICPHS2000.pdf]

(13) その他、各言語・分野ごとの慣例がある場合は上記に準じずにそちらに従っても良い。ただし、その場合は論文中で形式を統一させること。

以上
上智大学国際言語情報研究所 Sophia Linguistica 編集部